

## マイナンバーに何でもひも付け

# G7で日本だけ

### 世界の流れに逆行

「日本はデジタル後進国」「主要先進国に大きく後れを取っている」と言って、トラブル続出のマイナンバーカードを国民に押し付ける岸田政権。しかし、同一の個人識別番号を複数の行政機関で利用（共通番号）し、各行政機関が持つ個人情報を一枚のカードにひも付けしようとしている国は、主要7カ国（G7）で日本だけです。個人情報を守る点からみても、世界の流れに逆行しているのが岸田政権です（表参照）。

### ドイツ 違憲示唆の判決

ヨーロッパでは行政分野を横断



「現行の保険証を残して」と訴える人たち  
= 8月23日、新潟駅前

し、広い用途に使われる個人識別番号は「憲法違反の可能性があると示唆した判決（83年）」（ドイツ）、「フランス人を狩るためのプロジェクト」との批判（ルモンド紙）などのため使われず、行政分野ごとに異なる番号となっています。

### 共通番号でカードにひも付け

国	共通番号	備考
日本	○	あらゆる情報をICカードにひも付け
ドイツ	×	行政分野ごとに異なる番号を使用
フランス	×	行政分野ごとに異なる番号を使用
イギリス	×	行政分野ごとに異なる番号を使用
イタリア	×	納税者番号を除き、国の共通番号はない
アメリカ	×	社会保障番号カードは紙。身分証明書に使用せず
カナダ	×	社会保障番号を利用するが、カードは廃止

イタリアでは共通番号自体がありません。

### アメリカ 個人情報記載なし

アメリカでは、社会保障番号（SSN）カードの発行形態は紙で、生年月日などの個人情報や顔写真は記載されていません。

## 万博 カジノと一体



万博会場のデザイン図（万博協会提供）

大阪・関西万博は、大阪市此花区の人工島・夢洲<sup>ゆめしま</sup>で開催します。声明では「夢洲に大規模集客施設を建設すること自体が無謀であり、事業が立ち行かない大きな要因」と指摘しています。土壌にはダイオキシン、ヒ素、PCBなどが含まれ、軟弱地盤のため対策費として大阪市が788億円の支出を決めています。夢洲になった背景は、万博と一体で進められているカジノ（IR）に万博客を呼び込むことを狙ったからです。

「経済、景気がよくなる」と期待する人もいますが、必

要なのは大型開発や一時のイベントでなく、中小企業予算の抜本的増額、賃上げで府民所得の向上を実現することです（「声明」）。

土壌汚染、軟弱地盤——危険な夢洲開催

## 物価高騰

### 総合的な対策へ 国会開け

あらゆる品目で「値上げラッシュ」が起きており、共産党の小池晃書記局長は「暮らしを守る総合的な対策を政府に求めたい」と表明しました（8月28日）。

小池氏は部分的でなく、総合的な対策が必要だと強調。▽緊急の賃上げ▽最賃のさらなる引き上げと中小企業支援▽10月からのインボイス（適格請求書）

制度の導入中止▽消費税5%減税▽教育費負担の軽減▽電気代やガソリン代の高騰対策——などをあげました。「そのために臨時国会を開き、予算委員会の開催を強く求めて行きたい」とのべました。

日本共産党